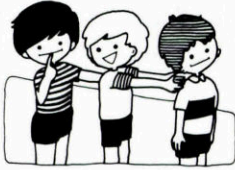


# 人権の日になんで

——お互いに人権を尊重しましょう——

市教育委員会では、人権の日12月10日にちなんで、市内小・中学校児童から作文やポスターを募集したところ、たくさんの作品が出品されました。その中から作文の二点を紹介します。



## 人権について

仙崎小学校五年 河野隆一

まず、人権という言葉の意味を辞典で調べてみました。

人権とは、「生まれながらに人間がもっている生命、自由、名誉などに関する権利」と、書いてありました。

ぼくは、この意味をもっとくわしく考えてみようと思いました。

どうして、人と人がにくみあい、差別をするのでしょうか。どうして同じ人間どうしがけんかをし、けいべつしあうのでしょうか。ぼくたちの、平和であるはずの生活の中から、どうしてこんなことがおこるのでしょうか。この「差別」という面から見れば、くさりきっている世の中を見て、ぼくはこう思うのです。

ぼくたち人間は、「ホモ・サピエンス」、すなわち、知性のある人間です。それが、おたがいにくみあい、けいべつしあい、差別をしあうことは、いけないと思いません。いや、だんじていけません。昔から、差別によって戦争が起こり国があらわれました。そして今でも昔と変わらず、この「差別」によってけんかが起こり、人がきずつきます。

このように差別をする理由は、

生命についていうと、何の理由もなく、人を殺したりする人に、人権の意味を教えるべきだと思います。きのうのテレビで、六月に東京で、仕事がなく、むしゃくしゃしていた人が、通りがかりの人を四人も殺し、ほかにもけがをさせたりした事について、さいば

どこにあるのでしょうか。つい先ほど、ぼくたちのクラスで差別について研究授業がありました。

この授業を通じてわかったことは、集団差別の理由は、意味のないことで人が差別をしているから、ぼくもするこんなことが多いということでした。このようなこと

自分が行われた事を写していました。自分がむしゃくしゃするからといって、他人の命をうばって許されるでしょうか。ぼくは、こんな人を心からにくみます。

そして、次に自由について考えてみました。ぼくのおじいさんが、今のぼく達ぐらいの頃から、青年



## 差別をなくそう

通中学校一年 岡村成雄

で、差別を行う人は、意志の弱い貧弱な人間だと思いました。さしずめ、ぼくのような人間です。

ぼくが、もう一つのことについて考えたことは、昔の身分制度のけいこうがのこっていて、このことで差別を行うということです。三年生は、このことをスライドげきとして、立派に成功させまし

んが行われた事を写していました。自分がむしゃくしゃするからといって、他人の命をうばって許されるでしょうか。ぼくは、こんな人を心からにくみます。

そして、次に自由について考えてみました。ぼくのおじいさんが、今のぼく達ぐらいの頃から、青年

た。このげきは公民館で、通の私たちの前で公開されることになっています。

このげきの内容は、ある少女Aが同和地区の人であることがわかり、今までいっしょにつきあっていた友達が、そのAさんを差別の目で見ようになりました。しか

これと同じようなことを感じたことがありました。それは、戦争中防空壕を掘るのに、朝鮮の人をつかい、食も、休みもほとんどあたえず命令にしたがわなければ、その場で射殺。その朝鮮の人たちが、きけんを承知で、血と、なみだ、いかりをこめた、ちようこくをの

こしました。これを少年たちが見つけたという話です。

この本を読んだとき、同じ人間どうしの、みにくい殺傷のむざんさを知りました。そして日本人が、こんなことをしてきたのかと、日本人である自分自身はずかしくなり、朝鮮の人たちに、ものすごく、すまないような気持ちでいっ

た。ぼくは、小学生の時に「S・O S・地底より」という本を読み、

なのだという事をするのが名誉を守るのではないかと考えます。だから、人間は、だれでも自由に生きていく権利を持っているのです。この事は、大人も子供も同じはずです。自分がよくなるためには、他人は、どうなってもよいという気持ちでは、だめだと思えます。みんなが手をとり合って、みんなが幸福になっていく事が人権を守ることだと、ぼくは考えています。

ばいでした。あとで父に聞いた話ですが、日本はその頃、朝鮮を植民地とし朝鮮の人々を、日本人のあつかっていたということでした。いくら日本が朝鮮との戦争に勝ったからといって、こんなあつかい方はないと思います。

今でも朝鮮は日本の下だと考えている人もいます。しかし、そんな考え方はいっさいしないでください。この世から、差別を、まったくなくすことは、不可能かもしれません。しかし、可能に挑戦するのが人間です。

いまま人間どうしが、にくみあい差別しあえば、人類が亡ぶようになりかねません。そのためにも、みんなで協力しあい差別をなくすよう、努力していこうではありませんか。